

光と風の大地

～北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」～

J A ところ組合員研修会

「野菜と育種の農業後継者育成について」
タキミ種苗面校長 福嶋 雅明 氏

「こつくん馬路村の村おこしについて」
馬路村農業協同組合 東谷 望史 組合長

今月の表紙：常呂町農業の将来に向けた
「組合員研修会」
(紹介は2ページ)

2016.3
No.
50>

農業・農村地域の発展を目指して

組合員研修会に130人参加



開会挨拶を述べる
猪野間実行委員長

JJA Jōji（小野寺俊幸組合長）と組合員研修実行委員会（猪野間信夫実行委員長）は2月16日、常呂町多目的センター大ホールで「JJA Jōji組合員研修会」を開き、組合員及び関係者など約130人が参加しました。

開会に先立ち猪野間実行委員長は「本研修会は、組織・地域リーダー研修夢さがし塾の5カ年の取り組み成果の大成として、参加者による実行委員会を設けて開催する運びになった」と開催経過を含めた挨拶が述べられました。

本研修の講師についてお二人の講演を拝聴し、常呂農業の発展に向かって皆で考えていかなければならない」と期待を込めた挨拶が述べられました。

小野寺組合長は「組織・地域リーダー夢さがし塾で道外研修をすることで、将来に向けたヒントになると考え、本研修の実施となつた」と話し、さらに「本町の農業の発展、農業後継者育成・担い手対策についてお二人の講演を拝聴し、常呂農業の発展に向かって皆で考えていかなければならない」と期待を込めた挨拶が述べられました。

本研修の講師に、タキイ研究農場付属園芸専門学校の福嶋雅明前校長と馬路村農業協同組合の東谷望史代表理事組合長のお一人が来町しました。

福島前校長は「野菜の育種と農業後継者育成について」

（昭和22年）の設立から69年間、農業のプロを育てること

されました。

講演後には、馬路村農協商

品の販売取り纏めコーナーで

試飲・試食が行われ、ゆずジ

ャムを初めて試食した参加者は「凄く美味しい！是非購入

したい」、「インターネットで同農協の商品購入を考え

いたので丁度良い機会になつた」と好評を得ていました。

研修会終了後には、5カ年計画の夢さがし塾参加者や役

職員とお二人の講師、併せて

同農協の本澤侑季職員も同席

した中で懇親会が開かれ、親睦と交流を深めました。

東谷組合長は「人口900人の小さな村で限られた農地と中山間地域で、いかに『ゆず』の販売を強めるかを考えた」と話した上で、「ゆず商品を6次化で付加価値を付けて都市部に販売することにより、現在の売上高しつながつて」と述べ、最後に「もっとイン

ターネットなどを活用して、常呂産商品を全国に広めてい

りたい」と会場の受講者に呼び掛けました。

参加者からは「限られた面積でもゆず商品の6

次化や販売戦略により全国で商品を販売してい

ることがあるのではないか」と改めて考させられたなどの感想が寄せ



馬路村商品に多くの来場者が注文していました



ゆずの6次化への経緯を説明する東谷組合長



開会挨拶を述べる
北見市常呂総合支所の
辻孝宗自治区長



「玉葱のリン酸強化培土試験」
の報告をする玉葱振兴会青年
部の遠藤圭一郎さん

JAとこう女性部「60周年を迎えて」の報告をする岡田真理子部長

ア项目的の報告や
情報提供を聞いた
参加者の皆さんには
「これからも農業
意欲をかき立てる
研修会でした」と
感想を話していました。



JAとこう女性部「60周年を迎えて」の報告をする
岡田真理子部長

北見市、JAとこう、網走農業改良普及センターで構成する北見市農業振興会常呂自治区部会は1月26日、常呂町多目的研修センターで「常呂町農業試験成績報告・技術情報交換会」を開き、関係者など約80人が参加しました。

報告及び交換会は、常呂町内に設置した試験展示圃場の試験成績を報告すると共に、地域における取り組みなどの情報を交換し、農業生産技術の更なる高度化と地域の活性化を図ることを目的に開かれました。当時は組合員やJA職員、普及センター職員など7人のです。

「玉葱のリン酸強化培土試験」の結果を報告しました。リン酸強化培土を使用することによるリン酸減肥の確認を行うことが目的です。

考察結果として、「強化培土を使用すると、収穫時期・収量共に同等の結果が得られた為、土壤改良材としてのりん酸の施用量の削減は可能」

場が増加している状況下では、収量性・経済性の面において普及性は高い」との報告がありました。

情報提供では、JAとこう女性部の岡田真理子部長が「60周年を迎えて」と題し、これまで行ってきた女性部の活動と60周年記念事業の記念研修旅行の報告を行いました。

また、会場内では常呂町小豆生産組合が販売する「ハッピーあんこストーン」の試食コーナーが設けられ、「町内でも盛んなカーリングのストーンの形に変わって、とても美味しい」と好評を得ていました。



「ハッピーあんこストーン」を試食する参加者

試験成績報告を聞く参加者の方々

生産技術の高度化と地域活性化を求めて

試験成績報告・技術情報交換会に80人出席

方々から試験報告4点、
情報提供3点が発表さ
れました。

試験成績報告では、

常呂町玉葱振興会青年部の遠藤圭一郎さんが

「玉葱のリン酸強化培土試験」の結果を報告しました。



「暑熱時における牛舎内環境の実態と
ストレス軽減対策について」の報告をする普及センターの木村恵主査



「秋まき小麦の省力型分施試験」
の報告をする販売課の原田亮係長

ICT技術を農業へ

ICT技術講習会開く



●講演を聞く参加者のみなさん

J.A.じゅる（小野寺俊幸組合長）は2月28日、常呂町で初の「情報通信技術（ICT）技術講習会」をJ.A.会議室で開き、41人が参加しました。

開催にあたり小野寺組合長は「この講習会を通じて、皆さんと共にICT技術の導入に向けて考えていただき」と挨拶の後、「精密農業における最新の取り組みについて」と題し株式会社岩崎の金子和真課長代理を講師に迎え、講演を行いました。GPSの位置情報を用いて機械の動作を自動で制御するオートステアリング（自動操舵補助）システムの説明や、レーザ式センサーを用いて作物の育成状況によって肥料の散布量を自動で調整する「可変施肥システム」の説明を受け、参加者からの関心も高く、「労働力不足の解消や生産コスト削減につながる説明を詳しく聞くことができた」と感想がでた、とても有意義な講習会となりました。



●講師を務めた金子課長代理



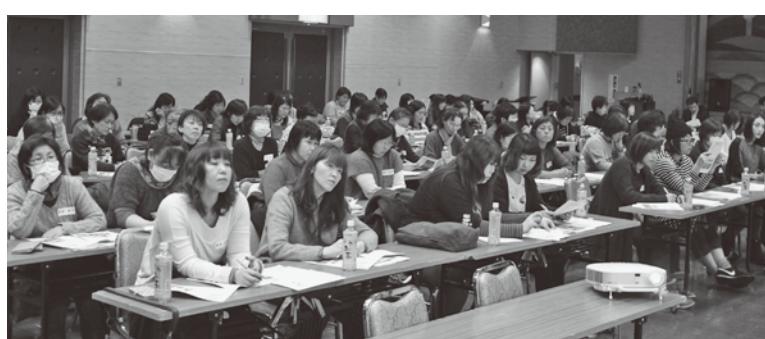
●甜菜の畠の雑草の種類について説明する橋本さん

橋福浩会長は2月5日、甜菜耕作者女性を対象にした「甜菜女性の研修会」を常呂町多目的センター大ホールで開き、甜菜耕作者女性72人と関係機関17人が参加しました。

午前の部は、「安心して下さい、雑草生えませんよ」と題し、北興化學工業株式会社の橋本晃さんを講師に迎え、「甜菜の畠で目立つ雑草の種類」や「種類ごとに有効な除草剤」について学びました。



●砂糖の歴史について説明する木山副所長



●大勢の参加者がメモを取っていました

午後の部は、「スイーティー木山の砂糖にまつわるあまいお話」と題し、日甜美幌製糖所の木山邦樹副所長を講師に迎え、「甜菜の精算方法」や「砂糖の流通」などについて講話いただきました。

その後、日甜美幌製糖所の鈴木良幸取締役所長より「ビートアワード2015」と題し平成27年産甜菜の産糖量が飛躍した生産者と集団上位3位の表彰を行いました。

平成27年産甜菜は過去最高の収量となり、2年続けて甜菜にとって良い作柄となりました。今回の研修会で学んだことを活かし、本年度も高収量を目指すと共に、甜菜の生産意欲を高める研修会となりました。

甜菜研修会に女性72人が参加 生産意欲を高め高収量を目指す



開会挨拶する岡田部長

JJAとうじの女性部（岡田真理子部長）は1月25日、農協会議室において女性部員57人が参加し、第60回通常総会を開きました。

開催に先立ち、岡田部長より「活発な意見や、要望が出されることを望む」と挨拶した後、来賓の小野寺俊幸組合長、北見市常呂辻孝宗自治区長、網走農業改良普及センター阿部秀幸所長より温かい祝辞が寄せられました。

議長は共立地区の齊藤てつ子さんを選出し、議案審議に入りました。

事業報告の承認に続き、「女性の感性を活かし、仲間とともに豊かな地域農村生活を実現しよう」との基本方針のもと、平成28年度事業計画が提案され、全ての議案が原案通り可決決定されました。

議事終了後には、昨年11月に行われた組合員研修「夢さがし塾」に参加した部員より報告がありました。

また、午後からは、北海道の女性農業後継者たちの組織を題材とした地域ドラマ農業女子「はらべ娘」を鑑賞しました。



綱領を朗唱する部員のみなさん



「はらべ娘」鑑賞中の部員のみなさん



藤澤部長が議長となつて、とり行いました

平成27年度活動報告及び平成28年度事業への取組みなど全ての議案が全会一致で承認されました。

総会終了後、さくらぼりきり「金襴ブレスレット」の作りを行いました。

は、「この集いでは、皆さんに活発な意見を出して頂き、より良い集いにしていきたいと思いますので、皆さんのご協力よろしくお願いします」と挨拶が述べられました。

その後、来賓のJJA女性部の佐野優子副部長より挨拶を頂き、議案審議に入りました。

藤澤部長が議長となつて、とり行いました。

平成27年度活動報告及び平成28年度事業への取組みなど全ての議案が全会一致で承認されました。

○部会長
森澤 滋子（富丘地区）
(敬称略)

○副部会長
伊藤さゆり（日吉地区）
(敬称略)

全日程終了後、あばしり湖鶴雅リゾートに移動し部会員24人が参加し懇親会が行われ、役員の考えたゲームや「ビンゴ大会」などで盛り上がり部会員同士の交流が深まる有意義な時間となりました。

豊かな農村生活の実現に向けて

フレッシュユニセスの集いに26人参加
部会員同士の絆深まる

「第60回通常総会終える」

平成27年度
事業報告の承認に続き、「女性の感性を活かし、仲間とともに豊かな地域農村生活を実現しよう」との基本方針のもと、平成28年度事業計画が提案され、全ての議案が原案通り可決決定されました。

開催に先立ち、藤澤部会長は「この集いでは、皆さんに活発な意見を出して頂き、より良い集いにしていきたいと思いますので、皆さんのご協力よろしくお願いします」と挨拶が述べられました。

斯部会（藤澤志乃部会長）は、1月26日に農協会議室で部会員26人が出席し「フレッシュユニセスの集い」を行いました。



フレッシュユニセスの集い記念撮影

青年部

組織活動の強化をスローガンに 28年度事業がスタート

第65回通常総会



27年度事業報告を述べる
猪野間部長

JJAとうじの青年部（猪野間尚人部長）は2月10日、農協会議室で第65回通常総会を開き、部員29人が出席しました。総会に先立ち、JJA青年部綱領を朗唱後、猪野間部長から「組織活動の強化と農業事業への取り組み」をテーマに計画した事業の報告がありました。

その後、来賓の当JJA小野寺俊幸組合長、北見市常呂辻孝宗自治区長、網走農業改良普及センター・阿部秀幸所長から総会開催にあたってのお祝いの言葉が贈られました。議長に遠藤一也部員（福山地区）を選出し、議案審議に入りました。

平成27年度事業報告及び収支決算報告などが承認された後、「青年部活動を通じ将来の常呂町農業を見据え、組織強化を目指す」とした基本方針のもと、平成28年度事業計画に、学習活動などの組織活動の強化や昨年度から実施している、肥料試験の取組や地域活性化活動への取組の継続などが盛り込まれ、全ての議案が全会一致で承認されました。



● 綱領を朗唱する部員のみなさん



● 意見交換する部員のみなさん



● パワーボーラーの
川上部員

青年部活動について 意見交換

青年部研修会に部員36人参加

JJAとうじの青年部（猪野間尚人部長）は1月25日、北見市民会館で研修会を行い、部員36人が参加しました。

今回の研修会は「青年部活動についての意見交換会」と題し、青年部活動について日々頃部員はどう思っているのか、意見を聞くことを目的に実施しました。

はじめに猪野間部長より年間活動について説明があり、年代ごとに4グループに分かれグループディスカッションを行いました。

その後のグループ発表では、様々な意見が出され、系統肥料取りまとめ推進事業は、「知識向上のため勉強会を行いました。

その後、スポーツ交流会としてボーリング大会が行なわれ、大いに盛り上がり、部員間の親睦が図られました。

ボーリング大会結果
個人の部 優勝 近藤圭介・江田雅一
団体の部 優勝 寺町裕平
(敬称略)

寺町太智・山本将大



オホーツク農協青年部協議会が行つた、管内の中小学生を対象にした「農業絵画コンクール」で、管内の小学生から136点の応募があり、町内の小学生6人が受賞し、オホーツクJA青年部賞は川沿小学校4年生の安原由菜さん、JAサロマ賞は同小学校4年生の近藤風香さん、JAとこる賞は常呂小学校3年生の龜澤日向子さんが受賞し、表彰状が授与されました。これからも青年部の食農教育事

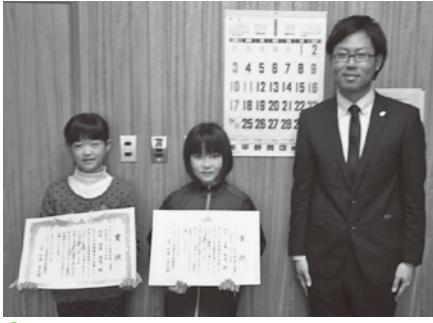
力強い発表でドリーム賞受賞！

常呂町4Hクラブ（寺田太智会長）は、1月28日から29日の2日間、札幌市の北海道自治労会館で行われた北海道青年農業者会議にクラブ員9人が参加しました。

2日目のアグリメッセージの発表では道内の青年農業者のこと」と題し発表。高校から大学院まで機械について学



●見事ドリーム賞を受賞した馬渕修氏



●受賞した安原さん、近藤さん、青年部協議会の佐藤正人理事(左から)

オホーツク農協青年部協議会が行つた、管内の中小学生を対象にした「農業絵画コンクール」で、管内の小学生から136点の応募があり、町内の小学生6人が受賞し、オホーツクJA青年部賞は川沿小学校4年生の安原由菜さん、JAサロマ賞は同小学校4年生の近藤風香さん、JAとこる賞は常呂小学校3年生の龜澤日向子さんが受賞し、表彰状が授与されました。これからも青年部の食農教育事



●開会挨拶する清井部長

習してきた知識と経験を基に、将来の農業経営や6次化に向けての取組みと熱意を述べ、見事ドリーム賞を獲得。2日間を通して、様々な地域の農業者と交流を深め、農業振興の意欲向上につながる意義深い会議となりました。

また、振興会通常総会終了後に青年部の第44回通常総会が開催されました。江田雅一

組合長と㈱丸市青果小川哲由取締役からそれぞれ来賓祝辞を頂いて第49回通常総会が開過を含めた挨拶の後、小野寺27年産玉葱の概況と事業経過を含めた挨拶の後、小野寺

幸会長（江田雅一部長）は1月28日、JA会議室で通常総会を開きました。開会にあたり、清井会長から27年産玉葱の概況と事業経過を含めた挨拶の後、小野寺

会長（清井俊俊）と同振興会の青年部

組織再編に基づき新役員体制を選出

玉葱振興会と同公青年部が通常総会開く

業に継続的な理解と協力をお願い致します。

常呂町玉葱振興会（清井俊幸会長）と同振興会の青年部（江田雅一部長）は1月28日、JA会議室で通常総会を開きました。

開会にあたり、清井会長から27年産玉葱の概況と事業経過を含めた挨拶の後、小野寺組合長と㈱丸市青果小川哲由取締役からそれぞれ来賓祝辞を頂いて第49回通常総会が開かれ、議長に鈴木淳氏を選出し議案第1号から第4号まで慎重審議して議案審議に移りました。

議案第1号から第11号まで審議した結果、全議案とも原案通り可決決定致しました。

玉葱振興会及び青年部は今年度が役員改選であり、昨年の臨時総会にて決議した支部再編の結果、全議案とも可決決定致しました。

振興会及び青年部は今年度が役員改選であり、昨年の臨

時総会にて決議した支部再編に基づき、新支部体制での選出となりました。

すべての総会終了後、来賓を交えて懇親会を開催し、意見交換を交えながら盛況下の内に、終了致しました。

玉葱振興会青年部新役員 部長 遠藤圭一郎(新)	岐阜地区 今橋 賢一(留)
共立地区 安藤 貴彦(留)	豊福地区 佐藤 優典(新)
羽石 遼祐(留)	今橋 博行(新)
日吉地区 遠藤圭一郎(留)	(敬称略)
豊福地区 今橋 博行(新)	(敬称略)



●総会に出席する会員のみなさん

将来を見据えた地域担い手対策強化

～常呂町農業担い手受入協議会 通常総会開く～

常呂町農業担い手受入協議会（林健志会長）は2月3日、農協会議室で第17回通常総会を開き、会員11人が出席しました。

総会には当JAの小野寺俊幸組合長、網走農業改良普及センターの大平純一係長、北見市常呂総合支所の工藤豊係長が来賓として出席し、小野寺組合長が代表して挨拶を述べました。

議案審議では、拓殖大学は、昨年に引き続き拓殖短大生の受け入れや先進地視察研修の実施、役員の選任が行われ、全議案が承認されました。また、総会の中で次世代

の新規就農者受け入れに対する意見交換も行われました。

新役員
会長 林 健志（留）
副会長 清井 俊幸（留）
理事 梅田 雄三（新）
佐藤 文彦（新）
（敬称略）

（敬称略）

歓喜の中、熱戦が繰り広げられた ～JJAとJNの年金友の会 第42回ゲートボール大会～

チームの総当たり戦で8試合

が行われ、審判員の大きな掛け声と選手の寒さを感じさせないハツラツとしたプレーが見られました。

4時間の接戦を制した「岩井義郎チーム」が見事優勝となりました。

年金友の会（小野寺勉会長）は2月12日、常呂町屋内ゲートボール場で「第42回年金友の会ゲートボール大会」を開き、会員22人が参加し行なわれました。会場内がとても寒い環境でスタートしましたが、日頃の成果を発揮しようと4

優勝
◎岩井義郎チーム
岩井 義郎
清尾 功
大江 隆晃
大江 政幸
大友 康歲
若杉 清井

（敬称略）



大会終了後、参加者で記念撮影



開会挨拶する林会長と参加者のみなさん

私の冬の楽しみはスノーボードです。20歳頃から始めて毎年5回以上はゲレンデに足を運んでいます。元々はファンスキー（ショートスクイー）をやっていましたが、友人から古い道具を譲ってもらい始めたところ、すぐに夢中になってしまいました。今では仲間内で行くだけでなく、一人でゲレンデに行きその場で出逢った人達と一緒に滑ることもあります。特に二セコなど外国人が多く集まる場所では国際的な交流も楽しめるなど、スノーボードを通じて交友関係も様々な視野を広げることも出来ています。技術的な上手さや格好良さだけではなく、人や雪と戯れる楽しさこそスノーボードの最大の魅力だと私は思います!!今年は雪に恵まれずあまり滑りに行くことが出来ていませんが、シーズンはまだ続くので週末はゲレンデに通つもりです。ウィンタースポーツは場所が限られたり、お金がかかるなど、競技人口が減っているようですが、寒い季節にこれほど熱くなれる事はないと思いません!!是非皆さんも始めてみては?



マイボードを持ち、記念撮影する齋藤職員

ちふと発信

J A マン コーナー

発信No.27

管理部管理課 齋藤 大輔

「スノーボードの魅力」

J A 職員からのオススメをジャンルにこだわらずに紹介するコーナーです。



行事予定表

3月1日(火)～3月31日(木)

3月 2日(水)

育苗センター操業～22日

3月 5日(土)

閉組日

3月12日(土)

閉組日

3月14日(月)

常呂町4Hクラブ通常総会

3月19日(土)

閉組日

3月21日(月)

春分の日

3月22日(火)

第2回定期理事会

3月26日(土)

閉組日

3月27日(日)

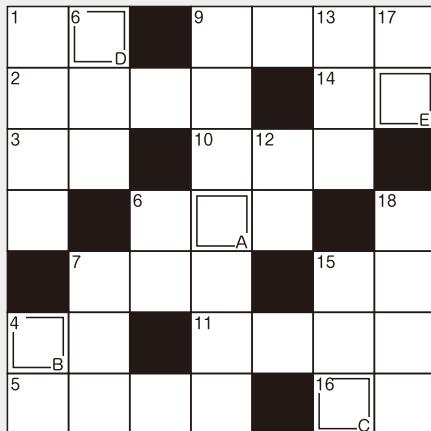
農休日

第12回理事会報告

- 道常例検査指摘事項に対する改善状況等の報告について
原案の通り報告することで承認されました。
- 就業規則の一部改正について
原案の通り一部改正することで承認されました。
- 組合員出資の減口について
原案の通り減口することで承認されました。
- 組合員の出資金譲渡について
原案の通り譲渡することで承認されました。
- 畜産収益力強化緊急支援リース事業に係る再貸付について
原案の通り再貸付することで承認されました。
- マイカーローンキャンペーン実施に伴う貸付金利率の設定について
次の通り貸付金利率を設定することで承認されました。
○利率(年)
優遇 1.60%
最優遇 1.50%
○期間 平成28年2月1日～9月30日まで
- 資金貸付に伴う農協と理事の契約(貸越極度額の設定)について
原案の通り設定することで承認されました。
- 平成28年度事業計画(案)について
原案の通り設定することで承認されました。
- 平成28年度事業損益の設定について
原案の通り設定することで承認されました。

〈報告事項〉

- 組合員の脱退について
- 農業委員会開催結果について



Crossword Puzzle

～クロスワード・パズル～

二重マスの文字をA～Eの順に並べ替えて出来る言葉はなんでしょうか?

タテのカギ

- 1月でウサギがべったんぺったん
- 100分の1は厘、1000分の1は
- 6尺貫法の重さの単位の一つ
- 衣服を着たり二足歩行したりする生き物
- 学校を卒立つ生徒を祝う行事
- 犬も歩けば〇〇に当たる
- 法隆寺は聖徳〇〇〇が建立したと伝えられています
- 気を付けの姿勢から頭を下げつつ腰を折ります
- ダイコンやゴボウはこの中から育ちます
- 世界三大珍味の一つ

ヨコのカギ

- 3月3日は〇〇の節句
- 見せるために物を並べること
- マニキュアを塗るところ
- 脱穀していないイネの実
- なるとには、この模様が付いています
- 前人〇〇〇の大記録を打ち立てた
- チーターやジャガーに似た動物
- 普通郵便より早く着く〇〇〇〇郵便
- 橋の欄干などに付いてる、ネギの花の形をした飾り
- 貝の中で大きくなる美しい玉
- 朝〇〇、植木〇〇、道具〇〇
- 猛獸を入れるのに適しています
- 日本一広い市、高山市がある県

先月の当選者・解答

2月号のまちがい探しの答えは、
「4、5、6、8、10」でした。
抽選の結果、次の方々が当選しました。
おめでとうございます。
岡部ヒロ子さん(岐阜)
今橋 心さん(富丘)
佐藤 虹心さん(豊川)
川崎 芳江さん(土佐)※()内は地区名です。

応募方法

答が解った方は、別紙の応募用紙に答えると広報誌へのご意見、ご感想を記入の上、FAXにてご応募下さい。抽選で、JAところの特産品「つぶあん」と「お赤飯の素」をセットでプレゼントします。

読者の声

★家族みんなでまちがい探しをするのが楽しみです。
(豊川地区・佐藤 虹心さん)

★毎月楽しく読ませてもらっています。
(土佐地区・川崎 芳江さん)

★毎回楽しんでいます。
今回は難しかったですね。
(豊川地区・田渕 春美さん)

私たちが守るオホーツク農業 世界に伝える安全・安心!!



第35回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会

オホーツクJA女性協議会主催の第35回オホーツクJA女性部研修大会・家の光大会が、2月1日～2日の日程で網走市「網走湖荘」で開かれ管内の女性部員約300人が参集し、JAところからは18人が参加しました。

開催にあたりオホーツクJA女性協議会の佐野多希子会長が挨拶を述べた後、来賓の方々からご祝辞が述べられました。

各種報告・発表の後、「私が思う農業者の責任」と題し、北海道農協青年部協議会参与黒田栄継氏による講演が行われました。

講演後は、全体での懇親会が行われ、アトラクションでは7JAの女性部が踊りなどを披露しました。当女性部からは、ところ版ピンクメドレーと題しピンクレディーの楽曲に合わせダンスを披露しました。2日目は「簡単ダイエット&デトックス」と題し、エイトロープの大塚寛恵代表による講演が行われました。

この2日間を通じ新たな知識を身に着けると共に管内女性部員との交流を図ることの出来た有意義な研修会となりました。



【写真上】講演を聞く女性部のみなさん
【写真下】ピンクレディーを披露した
部員のみなさん

子どもたちの 元気な姿が活力に

～ところ雪んこまつり～

「ところ雪んこまつり」が2月14日、百年広場で行われ青年部・女性部・4Hクラブ・小豆生産組合が協力しました。

寒さに負けない子どもたちの元気な「雪んこ宣言」でスタートした雪んこまつり。あいにくの天気の中、イベントブース・販売ブース共に大勢のお客さんが訪れ大盛況となりました。特に4Hクラブの作ったジャンボすべり台は子どもたちに大人気で遠くにいても子どもたちの元気な声がたくさん聞こえてくるほどでした。



「揚げたこ焼き」を作る麻富副部長、
岡田部長、佐野副部長(左から)



すべり台を滑るために
大勢の子どもたちが
来ていました

- 1日の寒暖差はまだありますが体調などは崩されておりませんでしょうか。少しずつ日が長くなり春がすぐそこまで来ている様に感じられます。玉葱の播種作業も行われ始め、大きな災害に見舞われることなく無事豊穣の年となることを期待しております。
- 毎月載せておりますクロスワードパズル・まちがい探しの応募は毎月15日まで受け付けております。皆さんに親しまれる様にこれからも工夫して参りますので是非ご利用ください。たくさんのご応募お待ちしております。《営農企画課：広報担当》

今月の表紙：常呂町農業の将来に向けた 「組合員研修会」

今月は、今年で最終年になりますリーダー育成を目的に行ってきました「夢さがし塾」の成果の集大成として開催した、組合員研修会を表紙に選びました。

人材育成に力を注いできたタキイ研究農場付属園芸専門学校の福嶋雅明前校長、ゆず商品の6次化に力を入れている馬路村農協の東谷望史組合長のお話は滅多に聞くことのできない講演だったと思います。講師の方々の話を聞いて、将来に向けて考えさせられる有意義な研修会となったのではないでしょうか。